



西麗会会報

埼玉県立浦和西高等学校同窓会



2023

会長あいさつ

西麗会会長 島崎 富夫（昭和45年卒）



西麗会会員の皆様、はじめまして。

2022年度総会において、大熊幸雄前会長の後を受けて、第6代の西麗会会長に就任した島崎富夫と申します。伝統ある西麗会のまとめ役の立場に就任し、まさに身が引き締まる思いであります。微力ではありますが、西麗会の充実と母校の発展のために、全力を尽くして参りたいと思いますので、ご支援ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

母校は創立89年目を迎えておりますが、母校の姿は、見る者のその時の立場や思いによって異なった姿に見えるものです。私が西高に通っていた昭和40年代の前半は、世界的にはベトナム戦争があり、川端康成氏がノーベル文学賞を受賞し、日本各地では若者が体制変革を求めて学生運動が盛んな時代でした。西高でも、私が高校3年の時に高校紛争が起きました。まさに時代を象徴するような様々なことが起こっている時でも、私の青春時代を包み込んでくれる優しい母校の姿がありました。

卒業してから32年後、私は教頭として母校に着任しました。そこには、時代の変化に十分適応しきれないで、もがく母校の姿がありました。

そして、西麗会会長として見る母校には、コロナ禍の時期においても、地域の信頼に応えていくために、生徒の皆さんと教職員の方々が必死に努力するたくましい姿があります。

西麗会は、今後も、全力を挙げて母校の生徒さんと先生方を支援していきたいと思えます。そのためには、財政的な基盤を整えることも必要です。会員の皆様には、西麗会へのご寄付を改めてお願いいたします。

表紙のことば

水伝ふ磯の浦回うらみの石つづじいは

もく咲く道をまた見なむかも



カット 木村みづほ
(昭和32年卒)

舎人とねり (巻二一八五)

「水の流れる池の岸辺のいわつづじがいつぱい咲いている道をまたみることもあるだろうか。」

天武天皇の子、草壁皇子の舎人（召使）が皇子を偲んで詠んだ歌。道端に咲くツツジの花を見ては、仕えていた皇子が亡くなった寂しさをいつそう募らせたのかもしれない。

ツツジという名前は、花が筒形でオシベが出ていることから「ツツシベ」↓「ツツジ」に変化した説や、続いて咲く木という意味の「ツツキサキ」や「ツツリシゲル」が語源という説がある。

表紙の写真は「ヤマツツジ」。群馬県北軽井沢にて撮影。

標高一、〇〇〇mを超える群馬の山中では、五月連休が終わると樹々の芽吹きが始まり、森は薄緑色にぼんやりと霞む。さらに季節が進む五月末、樹々に新たな春の生命が注ぎ込まれるかのように、勢よく萌黄色に染まってゆく。そこへ朱の色を重ねるのがヤマツツジの花の群れ。森が一年でいちばん明かるい季節の到来だ。

今号で表紙写真の担当を交代します。題材を求めて野山を歩き、当会発行の冊子『万葉の庭』をめくる楽しい時を持ちました。十年に渡る長い間お読みいただきありがとうございました。（本間葉子）

歌の解釈は『万葉の庭―散策の栞―』より

あの先生は今



令和四年五月二十一日に開催の西麗会総会の案内状にご回答いただいた先生方の返信を掲載いたします。(総会前日までに届いたものを掲載しております。)(敬称略)

〳出欠はがきから〵

●荒井 桂(社会) 東松山市

練達の先生方の多かった西高に新米教師としてお世話になりました私共も、教育界を退いて後さまざまな仕事に携わり、一応元気に須杖の生活を楽しんでおります。

●岡澤静子(国語) 川口市

生きています。書くこともない穂高の暮らして月日が経ってしまいました。

●形山素朗(理科) さいたま市

盛会を祈るや切。

●加藤 剛(数学) 鴻巣市

月曜日から土曜日は、武南学園で働き、休日は、草むしりをしております。草むしりはスクワットのように、ふくらはぎによいんですね。高血圧の改善が楽しいです。昨年、母を亡くしました。死が身近になりました。

●小林 功(国・司) さいたま市

5月の西麗会総会で記念授業講師の

楚山先生と再会。41年前の411号教室に一瞬で戻ってしまつた。クニイ君、コガワ君、サイトウ君……入学のときの五十音順の座席で級友を覚えてゐるから笑える。

●楚山大和(英語) 上尾市

西麗会総会の記念授業には多くの卒業生の皆さんにご出席いただきありがとうございました。最初の赴任校として15年を過ごした古巣の西高にて“The Last Lesson”を行い、47年間の教員生活を締め括ることができました。皆様に感謝!“May Urawanishi Highschool Be Eernal!”

●仲西駿策(体育) さいたま市

西高サッカーに新しい血が注がれたようです。代々監督コーチはOBに受け継がれてきましたが、今年度より浦和南卒の須釜先生が来られました。どうぞよろしく。

●中村 清(国語) さいたま市

昨今は自然に親しむ機会が減り長年続けてきた趣味の野鳥観察も休止状態です。今はトラスト地の保全活動のみとなりました。

●中村正美(英語) 川越市

新任でお世話になった西高の初めての教え子ももうすぐ停年です。一生涯英語を教えることに関わって早50年。でも原点は浦和西にあります。生涯英語教育に関わってまいります。

●藤 和弘(英語) さいたま市

コロナ禍で外出を控えています、週2〜3回、公民館での将棋を楽しんでいます。

●森本恵美子(国語) さいたま市

宮澤賢治の詩「永訣の朝」の『蒼鉛いろ』について、化学準備室で蒼鉛の標本を見た瞬間、腑に落ちました。多くの方々との出会い、ユリノキ、桜、西高に感謝です。

●山口畑一(社会) さいたま市

捨てられて尚咲く花の哀れさにまた取り上げて水与えけり
無惨にも路傍に打ち捨てられた数株のパンジーを拾い上げ植付けると生き生きと蘇り長らく咲き誇った。

●吉沢義和(書道) 川越市

四年間という短い在職でしたが思い出深い日々を過ごさせていただきました。今でも数名の方達から賀状をいただいております。自主性豊かな生活には感動しました。

●吉住知文(社会) 川口市

一昨年は記念授業をさせていただき、多くの卒業生とお会いできて楽しいひと時でした。コロナ禍で海外旅行に行けないなか、細々とインド研究を続けています。

●和田幸男(地理) 鳩山町

西麗会の興隆を喜ぶ一人です。毎回会報表紙の万葉庭園の植物と歌に心します。山部赤人とタチツボスミレ

はその淡さから一段と春満杯のスミレであつたでしょう。

〳久しぶりの西高〵

●上村尚治(数学)

十七年ぶりの西高ということで自主自立の校風を懐かしく感じております。大宮区在住で通勤距離、時間にもゆとりが出てきましたが『ノーチャイム』ということで少しばかり緊張感もある日々を送っています。

●生方美代(理科)

十数年ぶりの西高です。正門の坂を登ると迎えてくれていた桜はなくなつてしまいましたが、校舎裏手の弓道場の脇にある満開の八重桜に、懐かしさを憶えました。

●菅原鉄也(国語)

非常勤講師として、25年ぶりに西高に戻ってきました。懐かしさでいっぱいです。雰囲気が変わって、やや戸惑つてもいます。

訃報

謹んでお悔やみ申し上げます。

町田金治先生(社会科)

令和4年5月15日に亡くなりました。

池上健一先生(数学科)

令和4年6月12日に亡くなりました。

和田幸男先生(社会科)

令和5年1月9日に亡くなりました。

あの友
この友



題字・カット
山本鐘互
(昭和40年卒)

鈴木榮子(昭和23年卒) 上尾市

お陰様で92歳になります。3年前から娘のところにお世話になっています。ひとり暮らしを卒業し、賑やかに幸せに暮らしています。娘婿が私と同じ西高出身です。

加藤(矢部)正納(昭和30年卒) 上尾市

私りそな銀行サポーターアドバイザー業務改革etc.提案。人生100年時代適切な相続、対策周知啓発！新型コロナ感染拡大続く喫緊の課題はコロナ対策。

永堀 徹(昭和32年卒) 川口市

現在の西高校舎の第一回卒業生は私達九期生です。旧校舎は、講堂もプールも埼玉大附属中学校と共用でした。あの別所沼近くの学舎が懐かしく甦ってきます。

沢村榮子(昭和34年卒) さいたま市

コロナの不安が続いている中、ロシアとウクライナの戦いが激化しており、悲惨な映像を見る度に胸が痛みます。21世紀のこの時代に想像すら出来ませんでした。

八木 正(昭和35年卒) 長野県大町市

板材の加工中、突然使用機材の不具合が発生し中断。アチコチ医療ケアを受ける身とこの機材の不調が重なり定年二十年の重さを実感しました。まだ続けます。

柴田成実(昭和36年卒) さいたま市

皆さん、どうぞお元気でね。私も元気で音楽に励んでおります。もつとがんばります。

嘉戸靖子(昭和36年卒) 京都市

同級、同窓の会合予定なく数年、寂しいことです。80代目前、学生時代の気持ちと変化はなし、でも加齢は身体能力の減退を告げています。

斎須祥子(昭和36年卒) さいたま市

長谷川肇志先生が令和三年十二月三十一日に亡くなられたのは、本当に悲しいことでした。ご冥福をお祈り申し上げます。学生時代のご恩に感謝します。

高橋千鶴(昭和36年卒) さいたま市

「日本の鳥・四季の鳥」および「ちはやぶる日本史」を連載中。他に日本史に関するエッセイや評論を新聞・雑誌等に執筆中。なんとか現役で仕事を続けています。

神谷尚武(昭和36年卒) 伊勢原市

現在、日本語学校で留学生の進学就職支援をしています。留学生は貴重な将来の外交官！日本文化を正しく教え、日本ファンを一人でも多く増やし続けて行くことを期しております。

林野 宏(昭和36年卒) 文京区

人間は死ぬべきが終わり、先輩同級生そして沢山のお世話になった方が消えて無くなってしまふ。生きているうちに何かこの世の為に成し遂げておきたいと思う今日此頃。

佐野和義(昭和39年卒) さいたま市

今年は我が家の近くで桜を楽しみました。鴨川の兩岸の満開の桜が見事でした。千鳥ヶ淵の桜にも劣りません。春風が桜の香りを運んでくれます。一時の幸せを感じます。

安達時彦(昭和39年卒) 川越市

西高時代に画家を志して60年、その歳月を記録した展覧会「安達時彦油絵展」を令和5年1月に川口リリア展示ホールにて開催しました。

中塚俊子(昭和40年卒) 町田市

リトアニア コロナと地震 プーチンの 狂気が桜を空しく散らす

皆様のご健康、ご多幸をお祈り申し上げます。

鶴澤利雄(昭和41年卒) 習志野市

この10月に後期高齢者の仲間に入りましたが、体調は至って元気です。ゴルフや釣り(船釣り)に興じております。体調管理に気を配りこれからの人生も謳歌して行きます。

山崎(山田)寿美子(昭和41年卒) 上尾市

大熊会長さん！今まで大役をお世話になりました。同期の会員として大変嬉しく

会員訃報

心よりお悔やみ申し上げます。

山田(鈴木)重子(昭和17年卒) 市川市

令和4年10月27日、97才にて永眠いたしました。帰宅願望があり、実家のある浦和に帰りたいと、常々言っていました。女学生の母に会ってみたいのです。 長女より

鈴木(大熊)千代子(昭和19年卒) 川口市

母は令和3年10月24日、94歳にて永眠いたしました。生前のご厚情に感謝申し上げます。 長男

熊王(金田)佳子(昭和20年卒) さいたま市

母は令和3年9月に他界しました。お世話になりました。 熊王尚彦

天野(高津)美子(昭和24年卒) 和光市

11月10日他界致しました。

河岡(島田)克子(昭和25年卒) 藤沢市

令和3年11月22日、90歳で永眠致しました。生前のご厚誼に感謝致します。毎年の会報を楽しみにしております。

林(井堀)清乃(昭和26年卒) 高崎市

母は2017年1月15日みまかりました。生前は大変お世話になり、ありがとうございました。

坂本(西沢)智美(昭和28年卒) 大田区

母は令和3年7月31日に永眠致しました。生前のご厚情に感謝申し上げます。 長女

心強く思っていました。歌手の加藤順子さんの歌とトーク大変楽しい思い出になりました。

吉浦昌子(昭和41年卒) 世田谷区

会報をご送付いただき感謝しております。46号掲載の増田長世君(失礼)のお名前と文芸部の写真に久しぶりに懐かしい昔を思い出しました。一年先輩の私です。

増子啓三(昭和41年卒) 青梅市

老体にムチ打ち、大塚駅3分の年金者組合中央本部に「ボランティア勤務」。年金を0.4%下げて、5千円を給付!? これって「朝三暮四」の典型!?

大熊幸雄(昭和41年卒) さいたま市

四年間務めた西麗会長を昨年五月ステッブダウンしました。最後の三年はコロナ禍のなかでしたが皆様の協力で乗り切れました。島崎さんにたすきをわたせて安堵しています。

安東英治(昭和42年卒) さいたま市

令和4年2月2日に旧友佐藤佳昭君が亡くなりました。コロナ禍にもかかわらず、30名近い人で見送ることができました。旧友が少しずつ亡くなるのは寂しいですね!

山下和子(昭和43年卒) さいたま市

電気を使わない生活三年目。月々の電気代は二〇〇円位です。浮いた分で浦高通りの喫茶店にモーニングを食べに行きます。夜は大宮図書館で本を読んでいます。

岡本孝夫(昭和43年卒) 横浜市

会報をいつもありがとうございます。卒業から半世紀、職場も卒業。残すは人生からの卒業ですが、それまで思い切り生きます。

大山純一(昭和44年卒) 下妻市

冬の西高の屋上からクッキリ見えた筑波山。今回、その山肌が綺麗に見える場所まで転居いたしました。

島崎富夫(昭和45年卒) さいたま市

西高を卒業してから50年以上経ちますが、何とか元気に活動しています。自治会長、保護司、人権擁護委員等の仕事で日々、動き回っています。

船越隆子(昭和45年卒) 八千代市

毎日PCのブログをやり、一日二千人強の読者に恵まれ私の生きがいになっています。庭に草花や小さなトカゲ君、キジバトの巣作りと季節も楽しんでいきます。

陳野敏弘(昭和45年卒) 市川市

コロナにも負けず、友人と酒を飲み、詩吟を吟じている毎日です。前回も記しましたが私の属していた西高陸上部がなくなりさびしい限りです。

大類由美子(昭和45年卒) つくば市

ジャムとスコーンの店の他に、食堂のおばちゃん、NPO活動、ハイキングガイド、と年々忙しくなるばかり。処理能力の衰えか、体力の衰えか……。

岡田美枝子(昭和46年卒) 大田区

私のフランス語との出会いは西高の植松先生。42年後に初めての語学留学でフランスへ。卒業後一度しか行ったことがな

いけれど、西高にありがとうと伝えたい。

岩城真幸(昭和47年卒) 北海道北広島市

今年は古希 70歳 よくもここまで生きてこられた!

あと30年 100歳までがんばるぞ!

欲張りじじーより!

小沢紀美子(昭和47年卒) 越谷市

パンダをフツーに見に行かれる平穏な日々がずっと続くことが大事なことに気づかされました。弾けるような西高時代が益々貴重なものとなります。

宇田川成子(昭和47年卒) 北本市

10月から息子の通っている作業所の昼のまかない30人分を週2回一人で作っています。カツ丼をリクエストされた時が一番大変でしたが皆喜んでくれました。

松岡 毅(昭和48年卒) 藤沢市

4月に卒業50周年同窓会があります。コロナ・ウ露戦争・CO₂と問題山積の世界ですが当日は病氣・介護・年金が話題になるのかしら!?失われた3年間でしが挽回したいな!倍返しで! (^ ^)

高橋秀樹(昭和49年卒) 所沢市

西麗会総会の記念授業に出席、楚山先生(クラス担任)にお会いできました。同級生とも再会できました。ありがとうございます。今後、よろしくお願いします。

加藤えみ子(昭和49年卒) 北本市

四十四年勤めた会社を退職し一年が経ちました。保護猫を迎え、毎日ネコで声でネコ可愛がります。コロナ、戦争、海難事故の一日も早い終息と解決を祈りたい。

上 利清(昭和29年卒) 桶川市

平成30年に死去しました。長い間ありがとうございました。みな様の健康をお祈りします。

伊地知(加藤)恭子(昭和30年卒) さいたま市

妻は令和3年11月14日に85歳にて永眠いたしました。生前のご厚情に感謝申し上げます。伊地知重和

井上(大隅)和子(昭和32年卒) 平塚市

母は令和3年12月21日に83歳にて永眠致しました。生前のご厚誼に感謝いたします。次女

山崎(石井)克子(昭和34年卒) さいたま市

令和3年10月に引越をしました。令和4年3月24日に他界致しました。西麗会の皆様到大変お世話になりました。

田中賢一(昭和34年卒) さいたま市

夫は令和3年9月22日に永眠いたしました。妻 照子

西脇良之(昭和34年卒) 北本市

夫は令和3年7月27日に80歳にて永眠致しました。生前は皆様方に大変お世話になりました。誠に有り難うございました。妻

金川(膳亀)加津子(昭和36年卒) 上尾市

妻は令和4年2月20日、永眠致しました。生前のご厚情に感謝申し上げます。金川栄輔

菅原弘之(昭和37年卒) さいたま市

父は死去しましたことをご報告いたします。長男

夏坂真澄(昭和49年卒) 渋谷区

令和三年末に定年退職し、現在は私立学校の経営再建のお手伝いなどの仕事をしています。自由闊達な西高のような校風を目指しています。

山村哲郎(昭和49年卒) 川越市

今もセカンドキャリアの仕事を続けています。以前の会社で得た資格で燃料電池車に水素を充填しています。

青山・松島(昭和50年卒)

波津久(昭和52年卒)

春爛漫の日、恩師白木恵二先生ご夫妻をお誘いし、満開の代用水縁をのんびり散策しました。喜寿を迎えた今も、先生は毎日三時間ピアノを弾いておられるそうです。

大崎栄一(昭和50年卒) さいたま市

94歳の父がなんとコロナに感染してしまいました。心配しましたが何とか無事に治まり安堵しました。西麗会員の娘は引き続き婚活中です。毎年書いていますが。

竹内 斎(昭和50年卒) 札幌市

65歳で定年退職し、今年4月より、札幌の会社と3年契約で再就職しました。人生二毛作、これからの人生を北の大地で楽しみます。

小島健一(昭和50年卒) 大阪市

45年ぶりに山歩きを再開しました。近所の低山ばかりですが、雪山にも初挑戦しました。六甲山、金剛山、高見山、三峰山、歩く毎に西高時代共に歩いた仲間の顔を思い出します。

小林成信(昭和51年卒) 世田谷区

昨年は37年振りに一度も海外に行かない年となりました。コロナの収束を願いつつ、西高関係者の海外での安全を祈念致します。

樋田(赤羽根)敬子(昭和51年卒) 神戸市

昨年二回めの人工股関節置換手術をしました。そうしたら今度は腰痛。でも、五十年ぶりに同窓生と再会したり。人との繋がりを大切にしたいと厚く思う年頃になりました。

石川(大熊)理恵(昭和51年卒) 板橋区

昨年、小学校時代の友人から突然の電話。現在、再任用で浦和西高の教頭をしているとのこと。様々なところで西高のご縁があることを嬉しく思います。

川口文和(昭和51年卒) 横浜市

西高時代からオートバイに乗り続けています。かれこれ半世紀に近いバイクライフです。西高に通ったお陰でこの素晴らしい趣味に出会えました。まだまだ乗ります！

野崎美夫(昭和52年卒) 中央区

オーボエのプロ奏者を目指して練習を続けています。音楽経験、音感、リズム感、あらゆる音楽的才能等皆無の中、暗中模索、七転八倒の日々がもう4年過ぎました。

齋藤伸之(昭和52年卒) さいたま市

西高卒業後、6回救急車で搬送されましたが、未だに生きています。7回目はどこかな？

小田郁子(昭和53年卒) さいたま市

浦和西高サッカー部OB会が、2022年夏に「一般社団法人UNSS」に移行し、グラウンドの人工芝化に向けて動き出しました。是非、皆さんで応援しましょう。

森田欣充(昭和53年卒) 桶川市

コロナ禍直前に還暦クラス会に参加出来ました。その後昨年六月から来年迄岡山市の関連会社勤務となり瀬戸内気候下で单身生活。皆様のご健勝をお祈り致します。

鳥羽(吉沢)恵(昭和53年卒) さいたま市

市議一期目を終了しR5春には2期目に挑戦します。西高を卒業して45年。世界も日本も大きく変化していますが、自由を求める気持ちは普通だと確信しています。

宮永恵美子(昭和53年卒) 米子市

定年後の再任用を2年と考え、この年度末で退職の予定でした。ところが新型コロナウイルスの感染拡大が止まらず医療従事者としてお役に立つ間は頑張ろうと思う今日この頃です。

小見恵一(昭和54年卒) さいたま市

初めて西麗会総会と記念授業に参加させていただきました。40年振りの楚山先生の授業楽しかったです。これからはこのような機会を増やしていきたいと思いました。

今原真理子(昭和55年卒) さいたま市

浦和に引越してきました。西高が近くなりました。同学年の小野(関根)裕子さ

飯塚弘道(昭和40年卒) 川口市

夫は令和3年8月に逝去いたしました。お世話になりました。有り難うございました。

中山(矢島)榮子(昭和44年卒) さいたま市

母は令和4年3月5日に永眠致しました。生前はいろいろとお世話になりました。ありがとうございます。

西野 清(昭和44年卒) 豊橋市

主人はかねてよりの病気のため令和4年3月30日、71歳にて永眠いたしました。

近藤(安藤)綾子(昭和45年卒) 調布市

令和3年7月25日に70歳にて死去致しました。生前のご厚情に感謝申し上げます。

中谷敦也(昭和55年卒) さいたま市

夫、中谷敦也は令和4年4月に永眠いたしました。生前のご厚情に感謝申し上げます。

伊藤昌美(昭和58年卒)

伊藤昌美は令和4年1月7日永眠いたしました。生前のご厚情に心より感謝申し上げます。

叔父 伊藤礼造



ん、教員生活の最後が西高だなんて素晴らしいです。38年間お疲れ様でした。有難う。

友松(佐藤)利英子(昭和56年卒) 川崎市

三十年近く都内の中学校で英語教師を務めた後、夫の勤務する米国シカゴに転居し、八年が経ちました。現在近隣の大学で非常勤講師として日本語を教える日々です。

大室 衛(昭和58年卒) さいたま市

お久しぶりです。西高卒業後、アメリカ(フランス)、日本、ベトナム、日本、中国とふらつき、今はフリーライターとして、大宮と池袋でなんとか生きています。

石川正己(昭和60年卒) 桶川市

卒業して37年。今年初めて母校に帰りました。西高はまさに青春の地です。胸がいっぱいです。楚山先生の記念授業、大変素晴らしい、勇気を頂きました！

高橋 臣(昭和60年卒) ふじみ市

今年の記念授業は教科担当だった楚山先生。所用のために出席できませんが先生のお顔を拝見し、高校時代を思い出しました。今年も寄付いたします。

元島 律(昭和62年卒) さいたま市

ユネスコ世界遺産に登録されている南フランスの城塞都市カルカソンヌでガイドをしています。是非お越し下さい。Instagramは@linoudayorie

中井(新谷)葉子(昭和63年卒) 吹田市

灘高2年になる息子の今時Z世代の学生生活を垣間見ながら、子育て一段落した英理子ちゃんと昔を懐かしみながら遊ん

でいます！これからも宜しくね！

尾中(竹田)美紀(昭和63年卒) 川崎市

西麗会会員名簿を購入して威力発揮。葉書だして繋がった複数の再会で語り合うお互いの三十五年の月日に感謝。これからも西高よしみでよろしくね！

馬場則雄(平成元年卒) さいたま市

西麗会のおかげで二年生の時のクラスメートの女性から連絡がありました。卒業アルバムを見て松戸の友人と懐かし思い出しています。

竹内大介(平成5年卒) 桶川市

長男が私立の中学校に進学することになりました。西高に入ることが無くなってしまうので、少し残念でもあります。

大谷義武(平成6年卒) さいたま市

卒業して30年近く経ちました。現在、会社経営と二人の子育てで人生で一番忙しい日々を過ごしています。忙しさを楽しみたいと思います。

島田(池脇)早津樹(平成8年卒) 大田区

都内公立学校で養護教諭として勤務し22年目を迎えました。小6の反抗期真只中の娘と毎日戦っています。西高時代の仲間とはLINEグループで今も繋がっています！

栗原 渚(平成10年卒) 川口市

今年度より私の絵が高校美術の教科書に10点弱ほど掲載され、スケッチの魅力を伝えています。西高の皆さんに見てもらえるといいなと夢見ています。

田中啓介(平成12年卒) 柏市

西高生、いつも応援しています。

総会報告

2022年5月22日(日)
西麗会総会が開催されました。

中村雄海(平成20年卒) 町田市

2年前の3月に東京都町田市で開業した武相動物病院、院長の中村です。ペットだけでなく働き手の幸せを願う理念は西高の「自分探しの旅」のおかげです。

並河奎伍(平成29年卒) さいたま市

進学した大学院の博士課程に残ることにしました。土木分野ということもあり同窓会活動はかなり盛ん。まだまだ若手として、西高の同窓会も盛り上げたい！



▲写真1 大熊幸雄会長が退任し、島崎富夫新会長が選任されました。



▲写真3 楚山先生を囲んで記念撮影。



▲写真2 記念授業は楚山大和先生の英語の授業です。



▲写真1 そばの名店「寺田屋」

浦和においしいそばあり

その名は「寺田家」

産業道路を渡つてすぐ、右手にはその昔、「海太郎寿司」がありました。今は営業していませんが、風情のある入り口が残っ

今回は産業道路の交差点を渡って細道を左折、由緒ある足立神社の縁起をひもときました。

今回はふたたび西高通りに戻り、少しだけ西高に向かって進みます。

ています。

その並びには、昭和の時代、西高通りに面して大きなガラス窓のある、楽器のショールームのような店がありました。そこにはカワイの電子オルガン「ドリマトーン」の上位機種が燦然と光を放っていた記憶があるのですが、思い違いかもしれません。

さらに歩くとそば店「寺田家」があります。(写真1) 平日は近くで働く人たちがランチに、休日ともなると近所の親子連れがやって来ます。

お目当ては注文が入ってからご主人があげてくれる天ぷらそば。いや、本鴨せいろそばも絶品。ああ、ここに来るといつも、どちらにしようかと悩みます。「ずいぶんスケールの小さな悩みなあ」と思った人は行ってみればわかります。

西高でも職員室の出前でお世話になりました。この店の息子さんが笑顔で届けてくれたおそばの味は忘れられません。

西高通り



今むかし4



昭和のショッピングアーケード

「並木フラッツ」

その先、西高通りの両側に、東欧の国にあるようなツインビルが向かい合って建っています。右手(南側)にあるのが「並木フラッツ」です。(写真2)



▲写真2 現在の「並木フラッツ」

1階が店舗、2階以上が住宅になっている、1階の商店の北側は雪国にある「雁木(がんぎ)」のようなひさしが張り出しています。精肉のとよだや、鮮魚の魚一水産、清浄野菜の広田屋、電器の「ひが」……。雨の日でも傘を差さずに買い物ができる、ここへ来れば何でもさう、当時としては画期的な商店街だったのでしよう。

「ショッピングモール」などという言葉も知らなかった昭和のころ。買い物は皆、買い物かごをもって商店を買いまわったものです。肉も魚もお店の人に対面で「〇〇を△△グラムください。」〇〇の切り身を△切ってください。」などと頼み、目の前

で目方を量ったり、スライサーで切ったりしてくれました。その間に他愛もない話をしたり、おまけをしてくれることもありました。発泡トレイなどなくて、経木や油紙で包み、手のひらの上で器用にくるりと回して紙ひもをかけるのが魔法のようでした。

今はシャッターを閉めている店が多くなりました。アーケードのひさしに店名は残るばかりです。

夕闇が迫る誰そ彼時、今は人気(ひとけ)のないはずのこのアーケードがまばゆいばかりの裸電球で照らされているではありませんか。しかもどの店もお客さんがひしめきあっています。

白衣を着た肉屋のおばさんが「いかほど差し上げましょう」と声をかけてきました。魚屋のおにいさんは大きな胸当てエプロンをして、通路にホースで威勢よく水をかけています。広田屋のおじさんは天井からつるしたかごからおとりを取り出して客に渡しています。みんなあのころのまま。お客さんもみんな若くて……。

「今のは何だったのか？」目をこらしてみると、また、シャッターの降りた並木フラッツに戻っていました。

あのころの店の人たち、お客たちが、それぞれの場所で今も幸せであることを願っています。(小林)

おことわり

この記事中に紹介した店は、昔の記憶と最近の取材をもとにして書いたものです。店名や営業していた時期などに錯誤がある場合があります。利用する際は必ず事前に確認をお願いします。

二〇二二年度

寄付者のお名前

(敬称略)

昭和19年卒(旧7回)

井上昭子

昭和34年卒(11回)

間茂紀

昭和20年卒(旧8回)

石川佐和子

西脇良之

上原志那子

昭和23年卒(旧11回)

新井やよい

昭和35年卒(12回)

海老澤弘子

鈴木栄子

花井喜久江

竹ノ谷裕子

高橋衛

昭和26年卒(3回)

小川君子

高橋正臣

八木正

昭和27年卒(4回)

梅田亮子

高橋恵美子

吉村克昌

昭和29年卒(6回)

守屋郁子

昭和36年卒(13回)

豊田美根子

昭和30年卒(7回)

小林茂水

嘉戸靖子

高橋司全

佐久間義廣

昭和31年卒(8回)

長浜勝栄

島宗俊郎

神谷尚武

伊藤千恵子

大野八重子

昭和37年卒(14回)

冷水俊朗

印南協子

昭和32年卒(9回)

門本ヨリ子

昭和38年卒(15回)

斎藤俊和

城崎康子

高木二郎

入澤洋子

関口英子

立川武司

五十嵐瑞枝

昭和33年卒(10回)

豊島泰之

古畑喜美子

中河原喬一

木戸晃

町田利之

昭和39年卒(16回)

鈴木由美子

福島珠代

青柳信子

村井公子

小沼小夜子

秋元ひかる

田中裕子

守川黎子

佐野和義

矢部公利

山田康博

宇治田進

内山一郎

富永正敏

野口為公

村井勝美

佐藤誠造

森茂

山田信彦

山田孝子

昭和40年卒(17回)

丹野瑳喜子

富田穰

服部光之

後藤妙子

長沢邦子

松木えつ子

金子揚子

金子正男

昭和41年卒(18回)

鶴澤利雄

西野久美子

宇根等

神田敏男

佐藤陽二

江川清

佐藤裕子

関根耀子

高橋みつ子

山崎寿美子

池澤堯彦

佐野茂

中西芳彦

増子啓三

松村光雄

田中昭吾

長谷川幸雄

平田春夫

大熊幸雄

稲垣昇

昭和42年卒(19回)

伊藤きみ子

丸山宮子

安東英治

今井登志樹

榎本信子

昭和46年卒(23回)

佐竹恵津子

松本知歌子

佐藤良雄

斉藤憲一

岡田美枝子

武藤智江

今成博茂

千田晃二

谷ヶ崎ひろ子

林則彦

池辺優

石川裕一

岡本孝夫

山岸勉

永田喜雄

西村富夫

吉田幹雄

安楽真知子

三谷真弓

板野敏子

小山明子

八木純子

磯田喜美子

千谷一郎

本間葉子

片岡素子

山下和子

安藤昭

野原文規

斎藤芳昭

古館勲

石井均

金子正男

丸山紀子

榊原啓子

豊田泰子

鈴木真澄

吉海政子

渋谷茂

田口和成

大類由美子

大森尚子

島茂美

島泰子

永井隆史

林一雄

陳野敏弘

寺木眞一郎

阿部博之

新井康俊

上野邦雄

金子弘

塚原重和

六崎妃土美

井原誠吉

島崎富夫

堀田美枝子

綿貫保子

竹内斎

江口克己

大崎栄一

斉藤登

長澤実

昭和51年卒(28回)

村松昭彦

池田啓一

黒須仁

鳴原勝久

田中和子

永井和信

吉田秀一

伊藤京子

大迫義谷

酢崎利夫

石川理恵

昭和52年卒(29回)

鈴木実千代

早乙女宣明

亀山浩一

堀内比呂志

星葉子

浅見宗徳

配嶋幹雄

昭和53年卒(30回)

河野正

森田欣充

後藤美子

御法川恵美

武藤英子

小田郁子

鳥羽恵

大塚昭之

武田真由美

赤羽明宏

白田敬治

和田哲也

内田圭子

阿達ヒトミ

昭和54年卒(31回)

中村裕一

五十嵐克篤

小見恵一

海老沼公一

田村義明

郷由美子

中川幸男

桐永香白里

小林功

泉名泰之

山田誠一

昭和50年卒(27回)

小島健一

道下敦子

田子明

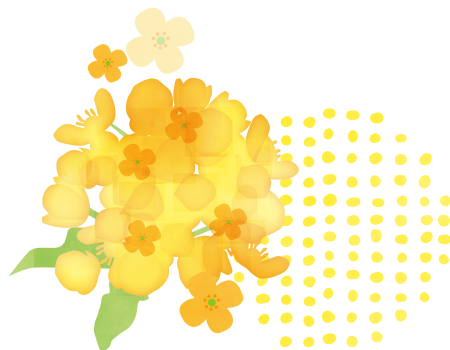
富樫正紀

昭和55年卒(32回)	松本和幸 信沢雅志	昭和60年卒(37回)	渡邊ルミ 高橋臣 山中英実	平成4年卒(44回)	安友貴子 大西徹	平成16年卒(56回)	加藤まみ 坂西野風子
杉山利行 杉井美佐子	大澤浩司 根本みどり	井上平太 佐藤雄一	加藤美和 笠井千奈美	平成5年卒(45回)	梅澤正尚 橋本雅子	平成18年卒(58回)	黒米敏弘
今原真理子 平井順子	大熊康典 仙澤隆	田口久徳 塚本良則	佐藤幸江 増田恵子	平成6年卒(46回)	竹内大介	平成19年卒(59回)	三善隆弘 松田裕太朗
木村政夫 高橋かほる	山田照子 青木香	小野裕子	木村直人 児玉朋子	平成7年卒(47回)	佐藤貴史 安藤弘晃	平成20年卒(60回)	並木萌子 宮代孝洋
昭和56年卒(33回)	友松利英子 千田寛	信田照幸 石川民見子	石川幸 長谷川友孝	平成8年卒(48回)	実藤雅史 大谷義武	平成21年卒(61回)	松田巴
宇和野真由美 吉岡典子	大塚紫 菊地慎太郎	牛山茂樹 大沼孝明	市原雄心 荻久保晃夫	平成9年卒(49回)	大塚信之介	平成22年卒(62回)	福島有夏
宝寺浩 吉田新一	中村敬子 近藤久美子	菅間智義 平野陽子	和田牧子	平成10年卒(50回)	井上嘉美 片岡浩一	平成24年卒(64回)	大崎友理華
篠原秀雄	昭和57年卒(34回)	昭和62年卒(39回)	鈴木成子 元島律	平成11年卒(51回)	半田亮子 阿部愛	平成25年卒(65回)	河村尚直 福島康弘
中野則子 山崎正一	小橋和則 福川英司	山崎恭子 小瀬隆一	前田英子	平成12年卒(52回)	藤見歩 久良木基広	平成26年卒(66回)	吉岡希光
本多卯生 迫立真由美	吉田浩之 福島久美子	昭和63年卒(40回)	奥山信男 島田貴子	平成13年卒(53回)	佐々木崇 市村里紗	平成29年卒(69回)	並河奎伍
平井敦子	昭和58年卒(35回)	大室衛 久保村康史	笹本紀子 大原和江	平成14年卒(54回)	竹田健太郎 有馬元明	平成30年卒(70回)	乙田晃太郎 森切遥海
佐藤真澄 森下利佐	忠末修二 羽田俊之	平成2年卒(42回)	楠瀬久美子	平成15年卒(55回)	塗師智久	令和2年卒(72回)	木村薫 忠末陽輝
杉浦弥生	昭和59年卒(36回)	森切瑞恵 中里史朗	北原路子	平成16年卒(56回)	山田涼平 古市千笑	令和4年卒(74回)	
坂槇直美	高木晶子 濱野広悦	平成3年卒(43回)	相馬知伸 新井均				
齊田絹恵 中西博子	伊藤育子 三野裕之						

➤ 振込料金が改定されました

いつも尊い寄付をありがとうございます。ゆうちょ銀行の口座をお持ちの方が同封の振込用紙を利用して通帳またはカードで送金をするると寄付1件あたり窓口利用で203円、ATM利用で152円を当会が負担しています。これは従来と同じですが、2022年1月の料金改定により、現金で振り込みをした場合、窓口利用では本会が203円、送金者が110円を、ATM利用では本会が152円、送金者が110円、と負担が増えることとなりました。

いちばんいいのは「ATMを利用してゆうちょ銀行の口座から通帳・カードで送金」です。ご協力をお願いします。





令和四年度も様々な行事が新型コロナウイルス感染症予防対策を講じながらスタートし、三年目となりました。

○四月八日に第七十七回入学式が行われました。三百五十九名の新入生が西高生として仲間入りしました。

○本来は一年生入学後すぐに、外部施設で行われていたスプリングセミナーも校内でのUNスプリングキャンプとして行われました。

○二年生は五月二日に、都内の大学や文化施設を班ごとに見学し、最後に上野公園に集合の遠足を実施することができました。入学後初めての校外行事で修学旅行(広島・関西方面)へ繋げることができました。

○三年生は、コロナ禍と同時に入学で昨年の修学旅行も実施できませんでしたが、鎌倉方面の遠足を満喫することができました。

○第七十二回西高祭は、三年ぶりに一般公開で行われました。

○十一月一日、昨年に引き続き埼玉スタジアム2002公園にて、第四十三回マラソン大会が行われました。

○本会顧問村上明夫さん(昭和36年卒)

はこのほど『見沼を商(あきな)う25選』(関東図書 税込み800円)を出版されました。村上さんは長年にわたり見沼田んぼ保全活動に取り組まれ、同書では見沼周辺で展開するアグリベンチャーの事例等を紹介しています。2022年11月16日付け埼玉新聞にも掲載されました。

○一般社団法人UNSS(旧・浦和西高サッカー部OB会)は母校生徒の運動環境の向上と、男女サッカー部練習環境の改善を目的としてグラウンドの人工芝化プロジェクトを推進しています。実現のための寄付を広く募っています。同法人メンバーは西麗会会員でもあることからプロジェクトの趣意書と寄付の払込取扱票を本会報に同封しています。なお、この件に関するお問い合わせはすべて同封の趣意書に記載の「UNSS」事務局が受け付けます。くれぐれも学校や西麗会に問い合わせることのないようお願いいたします。

○未来の種

細川 洋平さん

本会会員で2007年卒業の細川洋平さんが2022年10月28日に一年生対象の進路講演会「未来の種」において、「進級できない夢をいまでも見ます。」と題して講演を行いました。

西高時代はMAで活動し、それ以外

に釣り部(非公認部活)、草野球にも熱中した結果、「赤点7個!(2年生の途中)」を取り、最終的には「ギリギリ仮進級を果たす」。受験に立ち向かうために向かうと、「勉強してる!」と母が爆笑。これをきっかけとして「ガリ勉(一日に何時間も勉強ができる状態)」になる。猛勉強の末、東京外国語大学外国語学部日本語専攻に進学するに至り、英語/仏語/アラビア語/韓国語を修得する。就職では「語学(を仕事



にすること)は大変。飽きない仕事をしよう。自由で楽しい雰囲気がいいな。」との思いから外資系広告代理店に就職した。CM関連を担当し、「どのような内容であれば、買っていただけか/伝わるか」にこだわり、「何気ない一言/西高時代の会話・経験」等も活用し、我々もよく目にするTV・CM等に携わっている。

最後に、「面白いことをみたり、やったり、楽しみましょう。無駄になることは何もありません。今も、これからもきっと何か影響していると思います。やりたいことを、仲間を作って好きにやりましょう。できれば率先して」。そして、先生に対しても「西高生への最大限の支援のお願い」等、温かいエールとして語ってくれました。

文責 泉名泰之(31回昭和54年卒)

お世話になった先生方

令和四年度人事異動(敬称略)

参 与	鶴見 秀海	武南中学校
参 与	青木 一男	岩槻高校
保健体育	横田 雅之	定年退職
主幹教諭	岡地由紀子	総合教育センター
国 語	三村 純	市立浦和高校
国 語	山本 佳樹	富士見高校
数 学	田端 毅	任期満了
英 語	水石佐和子	浦和第一女子高校
主任実習助手	奥田美奈子	任期満了
音 楽	岡澤 理絵	任期満了
書 道	太齋明日香	進修館高校
地歴公民	飛永 悟	任期満了
英 語	仙波 明子	浦和高校
倫 理	高澤 有 二	蕨高校
美 術	西野真由美	大宮商業高校
書 道	宮崎 千草	庄和高校
事務長	石川 靖史	新座柳瀬高校
主 事	清水 爽矢	教職員課

5月28日(日) 母校で会いましょう

～総会は10時開始となりました～

日 時 2023年5月28日(日)
 10:00 総会開会
 11:00 記念授業
 12:10 懇親パーティー
 14:00 閉会予定

会 場 浦和西高50周年記念館

新型コロナの感染状況等により、総会・懇親会を中止することがあります。
 その場合、本会ホームページで告知しますので必ず確認してからお出かけください。

西麗会ホームページ <http://www.seireikai.org>

今年の総会の記念授業は数学の梅澤清眞先生 「数学とは何ぞや(πをどう教えるか)」



梅澤先生は埼玉県立不動岡高校・早稲田大学教育学部数学専修を卒業後、昭和52年に当時の西高としては稀有な新任教師として教壇に立たれました。

授業ではどう問題を捉えてどう解くかという数理哲学の実践に取り組まれました。「解法のテクニクを板書するだけでは面白くない。生徒が主体的に考える・興味が湧く授業づくりを目指した」そうです。

部活動は女子バスケット部の顧問として寝食を忘れるほど打ち込まれ、バイタリティ溢れる指導は青春そのものでした。OBコーチとの二人三脚で顧問就任2年目にして関東大会に、5年目にしてインターハイ出場を果たされ県トップ校の礎を築かれました。

また西高在任中に青年海外協力隊としてガーナに赴き、日本の教育を外から俯瞰され、その後の教育活動に活かされています。併せて実家のお寺の仕事も務め、勤勉強されて僧侶の資格を取得されるなどマルチな才能を発揮してこられました。「西高生は頭がいい。分別があり大人の会話が出来る。自己理解・自己選択・自己決定ができる。担任をしていて楽しかった。独特の授業を展開する教師がいる中で、生徒はそれを補って受験に挑んでいた。生徒がいい分、ともすると教師が楽をしがちなので常に緊張感をもつて臨んだ。」とのこと。

長き15年に渡る西高勤務の後、大宮東高校・県教育局国際バスケットボール室・騎西高校に勤務され、定年を前に家業を継がれました。現在は仏画の指導も手掛けられ、保護司としても活躍されています。対象は変わっても人としての道を教え続けていらつしやいます。

そんな梅澤先生のバイタリティ溢れる授業が5月28日に蘇ります。授業は数理哲学をベースにどう(どこまで)発展するのか興味津々です。あなたも主体的に数学を考えてみませんか。多くの皆様のご来聴をお待ちしています。

文責 阿部博之(22回昭和45年卒)

編集後記

十年の長きにわたり全国二万人の西麗会員に春を届けてきた本会報表紙「万葉の花」は本号をもってひとまず終了します。桜、梅、忘れ草、カタクリ、椿、山吹、ヤマユリ、ネコヤナギ、スミレ……。表紙を飾ったどの花にも思い入れがありますが、なかでも梅には苦勞しました。寒中に凛と咲く梅の花を撮ろうと担当者が何度も西高に足を運びましたが、その年はいにくの厳冬で、とうとう最終校正の日までつばみは堅いままでした。

西麗会員の皆様も植えられた場所ですれぞれの花を咲かせていることと思います。お元気で過ごしてください。

(小林)

編集・発行

西 麗 会

発行人 島崎富夫
 編集人 小林 功

〒330-0042
 さいたま市浦和区木崎3-1-1
 FAX 048(830)1117
 西麗会メールアドレス
info@seireikai.org
 西麗会ホームページ
<http://www.seireikai.org>

広報部

小林 功・杉村 長世
 本間 葉子・堀田美枝子
 岩本 和久・片岡 浩一
 植田 高史